

第12回

議会と語る会

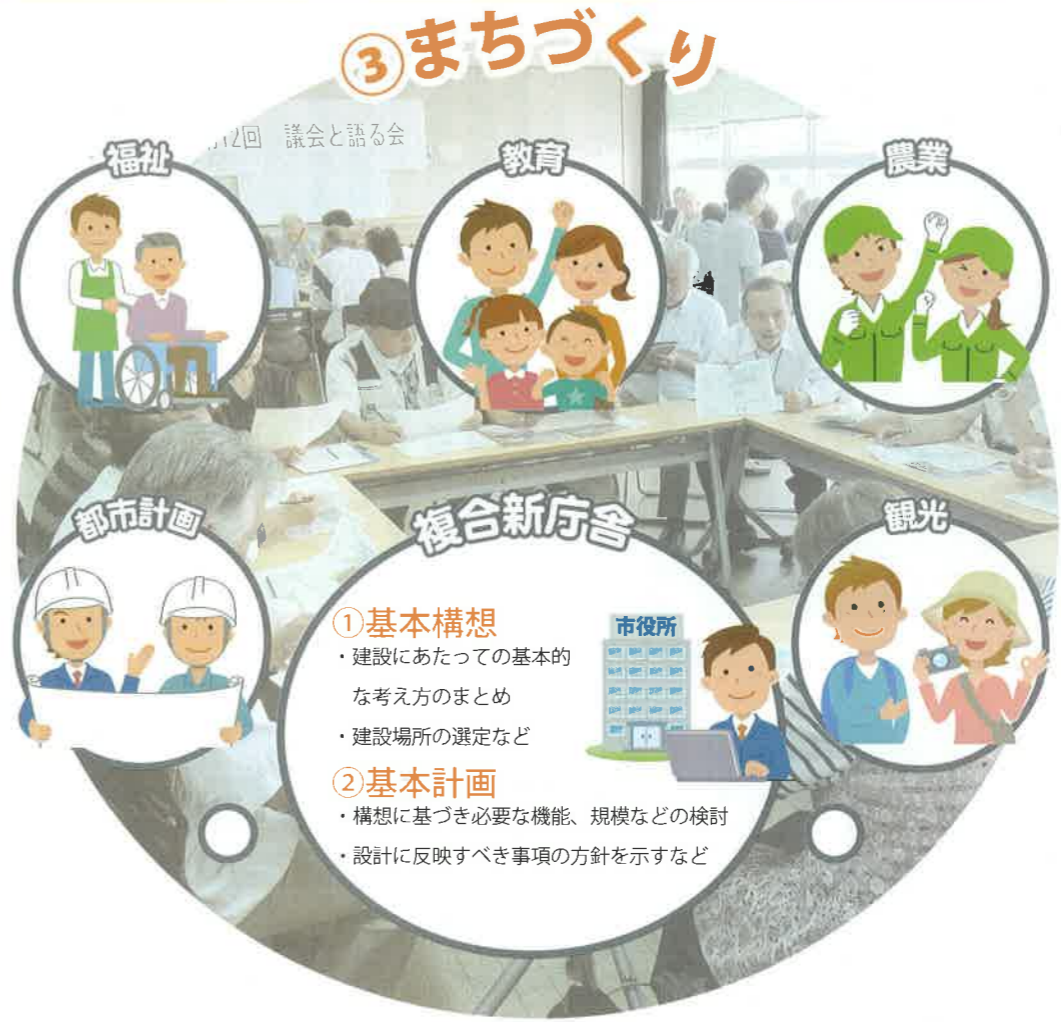
複合新庁舎建設で意見収集

6月8日(出)・9日(回)の2日間の日程で、3会場で開催し、複合新庁舎について、ワークショップ形式で意見収集を行いました。

3会場で80名参加いただき、多くの意見を出してもらいました。参加いただいた方々、誠にありがとうございました。

各会場であがった市民の皆さんの意見を整理すると、複合新庁舎に関する①基本構想、②基本計画、③まちづくりりに分類することができました。

今回は分類した形で内容を掲載します。全てを掲載できませんでしたが、ご了承ください。



出された主な意見

①基本構想

○現在の一部分庁舎方式のまま、総合支所方式を継続してほしい。

○災害対応の事を考えても、各支所に職員を多く配置し、連絡体制の強化を図ってもらいたい。

○地元の要望をどのような形で決定するのか。

②基本計画

○蒲生の新庁舎には、文化財展示室または歴史資料館を考えてもらいたい。

○高齢者が手続き等で本庁へ行かずに、支所で済ませられるようにしてほしい。

○蒲生公民館が解体されると聞いたので、それならば複合新庁舎には図書館・公民館を有したものにしてほしい。
※現時点で蒲生公民館解体計画はありません。

まとめ

意見収集の結果、分類ごとに課題等を発見できました。一部抜粋して掲載します。

①基本構想

すでに内容が決定し、市民への広報も行われています。しかし、情報が正確に伝わっていないということが確認できました。議会は行政に対して市民に理解してもらえような情報発信を求めています。

議員としては、ここで挙がっている意見を、何らかの政策として、提言していく努力をします。

②基本計画

加治木・蒲生で行政サービスが低下するのではないかと不安を感じることができました。市民の希望を全て形にはできないとは思いますが、市民の声を聞いて検討していくという姿勢を議会としても行政に求めていきます。



最後になりますが、議員一人ひとりが、今回の議会と語る会であがった意見を精査した上で、庁舎建設の審査等に活かしていくよう努めてまいります。



○加治木体育館の稼働率は高い。駐車場もあり、使い勝手がよいので、今後も体育館が必要だと考える。

○加治木は「教育と文化の町」のイメージから武道館施設がふさわしい。また、市民プールも必要。

知る職員を各支所に配置すべき。

○案内板の設置を明確にし、窓口が分かりやすいようにしてほしい。

○今までより不便にならないように。

○土日・祝日も受付窓口がほしい。

○行政サービスを落とさず、防災の拠点になるように。

○市民団らんの場も設けてほしい。

○費用のかからない庁舎を検討してほしい。
○食堂を入れてほしい。

○本庁舎の道路が狭いので、道路環境の改善をしてほしい。

○予算はいくらで、国などから補助があるのか。また返済計画はどうなっているのか、行政と議会は市民に示して議論してほしい。

○本庁は現在よりも高層になるが、地震は大丈夫か。近隣に住んでいると不安である。

○大人用のおむつ交換可能な大きなベッドが備え付けされたトイレを設置してほしい。

○健康のための施設、遊びの施設など、健康寿命の街の顔となる庁舎にしてほしい。

③まちづくり

○加治木の庁舎は商店街から離れているが、行政部門は商店街の中にあってもいいのでは。

○鳥津義弘公は、全国的に有名であり、記念館があれば観光の目玉になる。

○新設予定の子ども館と椋鳩十文学記念館との連携を提案したい。

○インバウンドなど、若者が安価に宿泊できるホテル施設と200〜300人の会合などができる施設が必要。

○加治木駅周辺に庁舎を建設してどうか。

○地理的に高い場所にくるべきではないか。

○街の活性化につながる庁舎にしてほしい。